

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	中原区第3グループ(平間・玉川・西加瀬)	評価対象年度	平成29年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新九子東3丁目1100番地12	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日	所管課	こども未来局 青少年支援室

2. 事業実績

	H28		H29		H28		H29		
	利用実績								
利用実績	1 平間こども文化センター				②年間延べ利用団体数	640団体	591団体		
	①年間延べ利用者数	41,885人	39,524人						
	2 平間小学校わくわくプラザ				②年間延べ利用者数	14,295人	14,273人		
	①登録者数	228人	245人						
	3 下河原小学校わくわくプラザ				②年間延べ利用者数	8,497人	8,871人		
	①登録者数	128人	132人						
	1 玉川こども文化センター				②年間延べ利用団体数	413団体	440団体		
	①年間延べ利用者数	33,418人	32,581人						
	2 玉川小学校わくわくプラザ				②年間延べ利用者数	20,644人	19,838人		
	①登録者数	250人	278人						
	3 下沼部小学校わくわくプラザ				②年間延べ利用者数	27,245人	33,958人		
	①登録者数	445人	461人						
1 西加瀬こども文化センター				②年間延べ利用団体数	379団体	374団体			
①年間延べ利用者数	33,069人	33,224人							
2 荻宿小学校わくわくプラザ				②年間延べ利用者数	18,547人	19,476人			
①登録者数	286人	266人							
3 木月小学校わくわくプラザ				②年間延べ利用者数	10,581人	12,703人			
①登録者数	163人	167人							
収支実績	単位:円								
1 収入									
指定管理料	157,120,883								
2 支出									
人件費	121,934,490								
管理費	9,684,833								
事務経費	8,479,420								
その他経費	9,050,913								
合計	149,149,656								
3 差引	7,971,227								
サービス向上の取組	運営協議会、保護者懇談会、子ども運営会議、日常的な利用者とのコミュニケーション等により、利用者ニーズを把握し、館の活動や運営に反映した。また、事業者のスケールメリットを活かした全館行事事、区行事やグループ行事など、地域を越えた児童の健全育成、交流の場づくりを実施した。								

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	「仕様書」を遵守して適切な事業の実施がなされているか。	10	4	8
		「事業計画」に基づき、着実な事業の推進がなされているか。			
		「こども文化センター」の運営をすることにより、児童の健全な育成が図られているか。			
		「わくわくプラザ事業」を実施することにより、放課後児童の健全育成が図られているか。			
(評価の理由) ・仕様書・事業計画に基づき、こども文化センター及びわくわくプラザ事業を適正に実施した。 ・平間こども文化センターでは、町会やボーイスカウト等地域と連携し、「こども文化センターまつり」を実施したが、今年度の新たな取組として、国際交流センターと連携し、テニスボールサッカーのコーナーを追加した。高齢者が幼児や小学生に競技を教え、一緒にゲームをすることを通して、多世代交流が図られた。 ・西加瀬こども文化センターでは、新たな取組として、中学生・高校生を対象に「夜間交流会」を実施した。ゲームや食事を通して、異学年交流が図られ、中学生・高校生の居場所としての活動の広がりにつながる取組となった。 ・玉川こども文化センター及び玉川小学校と下沼部小学校わくわくプラザ共通の取組として、「町めぐりとバリアフリー」を実施した。車いすを体験しながら地域を回り、車いすでの移動の大変さやバリアフリーの重要性について学び、得た情報や経験を子どもサミットで発表した。 ・こうした取組の結果、中学生の利用者数が、昨年度と比較し、約500人増加した。					
サービス向上及び業務改善	利用者ニーズ	サービス向上のために、利用者等の意見を適切に把握しているか。	10	3	6
		利用ニーズを把握し、事業実施に適切に反映しているか。			
		苦情対応など、利用者への適切な対応が図られているか。			
	特別な配慮を要する利用者への対応	特別な配慮を要する利用者への対応が適切になされているか。	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業の実施にあたり、学校及び行政機関、地域の団体等との連携がなされているか。	10	4	8
	施設・事業の広報	施設を知ってもらい、事業の充実を図るための周知の活動等に取り組んでいるか。	5	4	4
	運営協議会の実施	「こども文化センター運営協議会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3
保護者懇談会の実施	「わくわくプラザ保護者懇談会」が適切に運営・開催されているか。	5	4	4	
(評価の理由) ・利用者ニーズについて、意見箱の活用や利用者アンケート、子ども運営会議等を通じて、利用者ニーズ把握に努め、購入図書を選定等に利用者意見を反映している。 ・特別な配慮を要する利用者への対応について、学校や保護者、職員全体で情報共有を行い、個々の児童に合わせた対応を行っている。西加瀬こども文化センターでは、てんかん発作への対応研修を実施し、適切な対応ができるよう備えている。 ・学校及び行政機関との連携について、学校施設開放委員会や学校行事への参加に加え、中学生の職業体験を受け入れている。西加瀬こども文化センターでは、「なかはら20年構想委員会」の「なかはらバンジー推進プロジェクト」に参加し、地域のボランティアとこども文化センター前の街道に花を植える活動を行った。玉川こども文化センターでは、中丸いこいの家と新たに連携し、いこいの家で活動するコーラスグループの協力により、小学生や乳幼児親子などを対象とした「童謡コンサート」を開催し、地域の交流を促進した。 ・施設・事業の広報については、ホームページやおたより等多様な媒体を用いて積極的な広報を行っている。また、乳幼児向けたよりや中学生・高校生たよりを発行するなど、対象年齢を捉えた広報を行った。特に西加瀬こども文化センターでは、病院や大型スーパーマーケットで乳幼児たよりの配布や掲示を行い、乳幼児親子の来館に繋がった。 ・保護者懇談会の実施について、懇談会が定期的に開催され、保護者の要望を把握している。下沼部小学校わくわくプラザでは、2つのプラザ室を結ぶ通路に雨が吹き込んで水が溜まってしまふとの意見に応え、すのこ状のマットを敷き、水はけを改善した。					

組織管理体制制	適正な人員配置	「児童福祉施設の設置及び運営の基準に関する条例」第54条に基づく職員配置がなされているか。	10	3	6
		「仕様書」において定める職員配置の最低基準が順守されているか。			
		「川崎市公契約条例」が遵守されているか。			
	職員の研修体制	職員の資質向上のために必要な研修が実施されているか。	10	4	8
職員が研修に参加しやすい仕組みづくりがなされているか。					
個人情報等の取扱	法人として、個人情報保護に関する規定や体制を整備しており、適正に取り組んでいるか。	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適正な人員配置については、こども文化センター及びわくわくプラザにおいて、仕様書・事業計画に基づき、適正な配置がされている。特別な配慮を要する利用者についても、状況に応じた人員配置ができています。 ・職員の研修体制については、運営法人の10年以上にわたる青少年分野における人材育成のノウハウを活かし、全市・グループ・館ごと、または、職位ごと、分野ごとの研修が行われていた。また、館内会議やスタッフ会議等において、研修を受講した職員がその知識を共有しており、研修資料やレポートをファイルに一元化し、職員が閲覧出来る等共有化の仕組み作りが出来ている。特に、区研修として、「中学生・高校生の居場所づくり研修」を実施し、中学生を取り巻く環境や課題、ほめ方や叱り方等を学んだ結果、平間こども文化センターでは飲食ルールが守れない中高生の対応に苦慮していたが、ルールを守る中高生を「きりぎりすいいこと見つけ！」という館内掲示板でほめたところ、中高生を含めた利用児童がルールを守るようになるなど、館の運営改善に活かされた。 ・個人情報の取扱については、法人において定めている、個人情報保護方針及び取扱規定に基づいて、個人情報等は鍵のかかる保管庫に保管されている。また個人情報の漏洩の事実はなかった。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な施設利用のため、施設や設備の保守・点検を適切に行っているか。	5	3	3
		必要に応じて適切な維持・補修がなされているか。			
		備品等の管理が適切になされているか。			
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保するための体制が整っているか。	5	4	4
		事故等が発生した場合に迅速かつ適切な対応が図られているか。			
		事故防止や感染症予防対策等が事前に図られているか。			
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯対策に工夫がなされているか。	5	3	3
		災害発生時に備えた対応が図られているか。			
		災害発生時に適切な対応・行動ができる取組がなされているか。			
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備の保守管理については、こども文化センター・わくわくプラザ共に、施設・設備の保守点検を日常的に行い、補修が必要な場合は適宜、工事等実施している。 ・西加瀬こども文化センターにおいては、ベビーカー専用の置場の設置、すべりにくい玄関マットの設置、幼児目線の手すりカバーの設置など、安全・快適な利用に向けた取組がなされていた。 ・利用者の安全確保については、財団作成の各種マニュアルに沿って、事故対応や衛生管理等を適切に行うとともに、実際の事故やヒヤリハット事例をもとに法人本部で「事例検討シート」を年2回作成し、館長会議、各館での職員会議、スタッフ会議と三階層において議論を重ね、そこで得られた対応策を集約して共有するなど、職員等の資質向上を図っている。また、アレルギー対応では、おやつ納品時、提供時などにおける複数回のチェック、エビベン使用時の対応についての研修等を行っている。 ・防犯対策及び災害時の対応として、法人作成の「不審者対応マニュアル」や、館ごとに作成している「災害時対応マニュアル」に基づき、災害備蓄品の常備や消防訓練、避難訓練の実施等、防災体制の強化に取り組んでいる。また、老人いこいの家や地域子育て支援センターと合同の避難訓練なども実施している。 					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	法人の規定等に沿った適切な会計処理と金銭管理がなされているか。	5	3	3
	効率的・効果的な支出	「事業計画」に沿った適切な支出がなされているか。	5	3	3
		効率的な執行に努め、経費削減に具体的に取り組んでいるか。			
		支出に見合う効果が効果が得られており、サービス水準も確保されているか。			
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金銭管理・会計手続については、適正に行われている。 ・受託20グループ52施設を管理している運営法人のスケールメリットを活かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品や備品の一括購入等の取組により、効率的・効果的な経費の支出がなされている。 					

4. 総合評価

評価点合計	69	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

こども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に長年に渡り携わってきた経験を活かし、安定した施設運営を実施している、市内20グループの指定管理を行うスケールメリットを活かし、全グループ合同行事、区合同行事等に加え、各館独自の事業も行い、豊富な行事を行った。「夜間交流会」、「童謡コンサート」、「親子deピラティス」など、地域との連携による行事や利用者のニーズに即した行事を実施している。てんかん発作への対応研修、気になる児童研修など、職員の能力向上や意識付けに取り組み、事業運営に反映している。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

今後も、地域社会全体で子どもを見守り育てる、安全・安心な居場所となるよう、環境整備や職員のスキル向上に努め、学校、行政、地域の各団体が共に連携しながら地域づくりを進めることで、職員と子ども顔の見える関係を築き、小中高生から高齢者まで、多世代にとって、居心地のよい場となるよう努めること。